

交通死亡事故が発生

四日市南警察署管内におきまして、令和5年7月27日に交通死亡事故が発生し、1人の方が犠牲となりました。交通死亡事故の状況は以下のとおりです。（報道文から抽出）

～ 今年に入り、6件発生し、6人が犠牲に（前年比+6人） ～

1 楠町北五味塚の市道で、普通乗用車(ワゴンタイプ)の自損事故

○ 発生日時 令和5年7月27日（木）午後11時30分頃

○ 発生場所 四日市市楠町北五味塚地内 市道

○ 事故の状況

直線路において、普通乗用車（ワゴンタイプ）が、運転操作を誤って対向車線の街路樹に衝突。後部席で敷いた布団の上で母親と一緒にいた赤ちゃん（名古屋市、7か月、男性）が死亡。

○ 事故を起こさないためには

- ・ 前方不注視や脇見運転をしないこと
- ・ ハンドル操作を適切に行うこと
- ・ チャイルドシート、シートベルトを確実に装着すること



2 今年6月までに、四日市南警察署管内で発生した交通死亡事故の概要

○ 今年に入り交通死亡事故が、既に5件発生し、5人が犠牲になっています。

- ・ 1月12日（木）午後5時30分頃、四日市市笹川5丁目地内の市道交差点で、普通乗用車と横断歩行者の衝突
横断歩道を横断していた高齢者（女性、90歳代）が死亡
- ・ 1月13日（金）午前5時30分頃、四日市市塩浜地内の国道23号で、中型トラックと原付きバイクの衝突
合流場所でトラックと衝突した原付きバイクの運転者（男性、20歳代）が死亡
- ・ 1月22日（日）午後1時45分頃、四日市市楠町地内の市道交差点で、普通乗用車と自転車の衝突
横断歩道を自転車で横断していた小学生（女性、10歳未満）が死亡
- ・ 4月9日（日）午前6時20分頃、四日市市松本地内の駐車場で、普通乗用車と誘導者の衝突
駐車場で後退する普通乗用車を誘導していた高齢者（男性、80歳代）が死亡
- ・ 6月4日（日）午前0時10分頃、四日市市川島町地内の湯の山街道で、オートバイの自損転倒事故
カーブ路で転倒。運転していた若年者（男性、10歳代）が死亡

3 三重県では、交通死亡事故が多発（前年比:+11件、+12人）!

○ 交通死亡事故が多発

四日市市楠町の交通死亡事故で、三重県内では交通事故死亡事故が**38件発生し、39人**が犠牲となりました。

○ 交通死亡事故の特徴

- ・ 自損事故の死者が増加 ～ 自損事故の死者は14人で、前年比：+6人
- ・ 自動二輪車の死者が増加 ～ 自動二輪車の死者は8人で、前年比：+5人
- ・ 若年者の死者が増加 ～ 若年者は5人で、前年比：+3人
- ・ 国道、県道での死者が増加 ～ 国道は15人で、前年比：+5人、県道は12人で、前年比：+8人

三重県交通安全県民運動スローガン

やさしさが 安全つなぐ 三重の道 ～ 歩行者の ハンドサインは 赤信号 ～